

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム やすらぎ荘

目標達成計画

作成日：平成 30年 8月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	グループホームでも重度化や終末期に対する心構えが必要になってきている。高齢で徐々に医療依存度が高くなる利用者も増え、管理者が看護師であるが介護スタッフだけの時もあり不安がある。	医療面でのスキルアップを図る。状況に応じての判断ができ緊急時でもすばやい対応ができる。今後も日頃の利用者の様子をしっかりと観察し状態把握に努めていく。	終末期医療知識に関する研修を行う。看取り支援の心構えや実際の対応などを職員と一緒に考え、職員会議等で話し合う。緊急時の対応マニュアルを作成し掲示する。	12ヶ月
2	35	BCP計画作成にて災害時の対応について見直しの必要がある。夜間の対応がひとりとなるため、地域住民との連携が必要であり、避難訓練を行っているが、地域住民も巻き込んで訓練する必要がある。	地域住民の方々と合同での避難訓練を開催する。	地域の方と時期的な事やどうかたちで行うのか話し合いを設け実施できるよう準備する。	12ヶ月
3	26	本人がより良く暮らすために、職員でアイデアを出し合い、ケアプランを作成している。よりよい個別ケアができるように、スタッフと検討しケアプランに反映させていきたい。	本人の状況が変わった場合、その都度モニタリングしてはいるが、定期的(6ヶ月に1度ぐらい)に作成していく。	もう少し、記入しやすいモニタリングの様式を作成し全ての職員で共有する。モニタリングの時期がわかるように表にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。